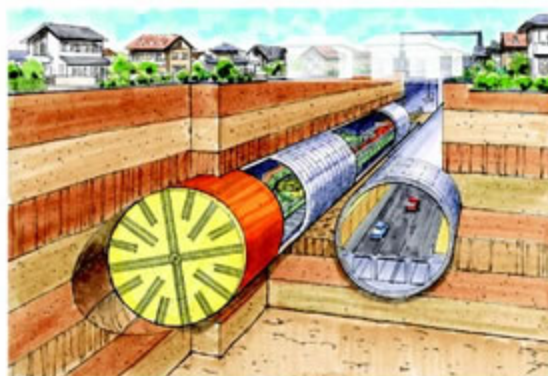


開削工法は施工中と完成後に、地下水を構造物が遮断する可能性があるため、安定した地下水面を維持する必要があります。

地下水面が低下すると、周辺の自然や建物に影響を与える可能性がありますので、安定した地下水面を維持する必要があります。このため、上流側と下流側を接続するなど地下水の流れを確保し、周辺地域に与える影響を最小限にする必要があります。

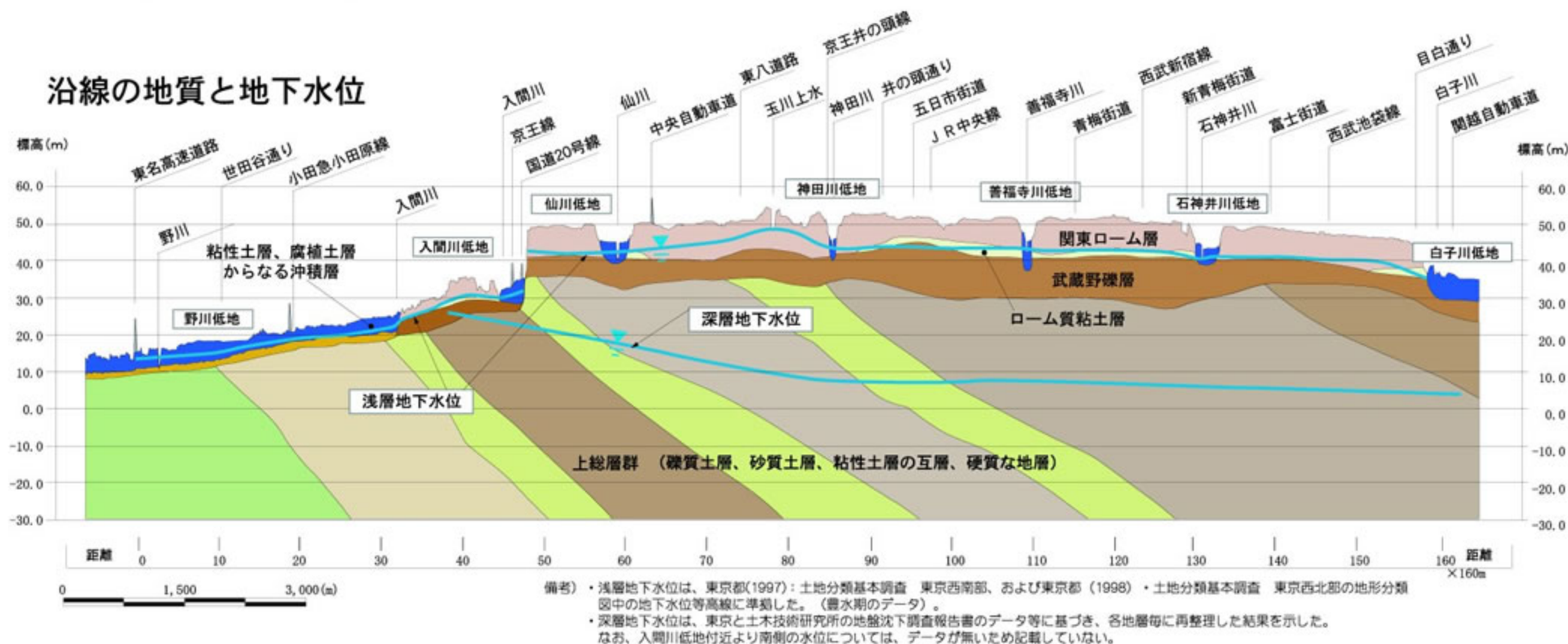


シールド工法工事のイメージ図



開削工事事例（首都高/埼玉新都心線）

沿線の地質と地下水位



沿線の地下水位の流向



今後、現地調査を行い、具体的な対策を検討